

開講科目名	日本文化演習 IIB			
成績入力担当	朴 鍾祐	開講区分		単位数
		第2クォーター		0.0単位
ナンバリングコード	R1IG050	曜日・時限等	火3(対面)	時間割コード

授業のテーマ

神戸地域の歴史と文化の特徴を学び、港町神戸をより深く理解することを目指す。

授業の到達目標

1. 神戸地域の歴史的発展過程を学ぶ。
2. 港町神戸の発展過程について学ぶ。
3. 近代以降、神戸開港によってもたらされた西洋文化の受容について学ぶ。
4. 阪神淡路大震災と神戸の復興について学ぶ。
5. 神戸の食文化の特徴について学ぶ。
6. 自ら神戸について発信する力を身につける。

これらのテーマを学ぶことによって、受講者ご自身が住む街をよく理解するとともに、周りの人にも神戸について発信する能力を身につける。

授業の概要と計画

本講義は対面授業で実施する。シラバスは変更される可能性がある。最新情報は授業に出て確認すること。

- 第1週 イン트로ダクション・神戸市概略
- 第2週 前近代の神戸の歴史
- 第3週 神戸の開港と近代化
- 第4週 神戸都市の発展と街並み・建築
- 第5週 神戸の食文化
- 第6週 阪神淡路大震災と神戸
- 第7週 神戸紹介のプレゼンテーション①
- 第8週 神戸紹介のプレゼンテーション②

成績評価方法

1. 授業参加 (10%)
2. 各授業のまとめ (30%)
3. 最終グループ/個人発表(60%)

※出席率80%以上を満たすことが必要。

成績評価基準

1. 各授業のテーマについて正確に理解したかを各授業の課題で評価する。
2. 各授業中の活動への主体的な活動したか、各授業の参加度で評価する。
3. 神戸の魅力についてテーマを選び、発信できたか最終発表で評価する。

履修上の注意（関連科目情報）

- ・本授業は中上級以上レベルの日本語科目である。
N3以上相当または、CIE-JTestで「中上級レベル」と判定された学習者を履修を可とする。
- ・交換留学生（特別聴講学生）履修可。

事前・事後学修

事前学修として、関連単語を調べ学習が必要である。
事後学修として、各授業テーマのまとめの課題がある。

*本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。

オフィスアワー・連絡先

朴鍾祐 木曜日15:10-16:40（要事前連絡）

jwpark@kobe-u.ac.jp

六甲台第2キャンパス（文理農学部キャンパス）神戸大学百年記念館・グローバル教育センター（旧国際教育総合センター）3階
朴研究室

※オンライン会議システムZoomでの面談も対応可。

学生へのメッセージ

神戸地域について関心を持っている学生、歴史や文化について興味を持っている学生はぜひ、受講してください。

今年度の工夫

BEEFなどのLMSを活用し、学生の学習成果向上を図る。

教科書

必要に応じて、BEEFに関連資料をアップするので、授業前の予習として読んでくること。

参考書・参考資料等

神戸謎解き散歩 / 大国正美 : KADOKAWA , 2014 , ISBN:9784046001757

授業における使用言語

日本語
日本語

キーワード

神戸、文化、歴史、都市、中上級、発表